

さあ、動労千葉魂で進撃だ！ '87年 団結旗開き



何よりも、この二カ月
全力で闘いぬこう

十三時、「八七年を中曽根打倒、三里塚・国鉄決戦の年として新たな決意で闘いぬこう」との新藤青年部長による開会が高らかに宣言され、第一部がはじまった。

主催者を代表してあいさつにたった水野副委員長は「こうして盛大に旗開きができることをもう一度かみしめてみよう」と述べながら、四月一日以降の労働条件をみると去るも地獄、残るも地獄の状況であり、労働者にとって四月一日以降こそ労働者の利益を守りぬく戦闘的な労働組合を必要としている。

「敵は、四月一日にむかってしゃにむに攻撃をかけてくるが、動労千葉が一人の脱落者をだすことなく闘いぬくならば勝利し、四月一日をむかえることができる。この二カ月の決戦を勝ちぬいて、新たな階級的戦闘的労働運動の主流をにないきる勢力に成長したい。その展望をもって一年間、何よりもこの二カ月間を全力で闘いぬこう」と提起した。

われわれの不撓不屈の闘いが光をはなつ時代となる

動労千葉の決意：中野委員長

八七年、最大の決戦を眼前にして動労千葉の決意が中野委員長より提起された。満場の拍手の中、登壇した中野委員長

動労千葉は、一月十日、労働者福祉センターにおいて、組合員・家族を中心に、動労総連合に結集する動労水戸、高崎の仲間、来賓、支援の労働者、三八五名を結集して「八七年団結旗開き」を開催し、分割・民営化絶対阻止、十万人首切り反対の旗をかかげ、動労千葉・家族ぐるみの団結をうち固め、動労総連合の火種を全国でつくりだしていく戦闘宣言を發した。

は、昨年一年間で、分割・民営化攻撃にかけた中曽根の狙いについては基本的に粉砕してきたと総括できる、と規定したうえで、四月一日、分割・民営化攻撃の矛盾が大破綻にむけてつきすすんでいく中で一月〜二月の闘いについて五点到わたって提起した。

その第一に、国鉄がかかえているすべての問題は、何ひとつ解決していないまま法案だけが通っただけという現実。



動労千葉 中野委員長

攻撃が激化する状況のもとで、動労千葉・国労共闘・動労総連合の仲間達の不撓不屈の闘いがまさに光をはなつ時代になる。
中野委員長は、以上の五点到わたって鮮明にしたうえで、勝利にむけて闘う方針を提起した。
中野委員長は、いま、少数派だが、情勢が大きくドラスチックに動きはじめる時に動労千葉は間違いない日本労働運動の先導部隊として登場することは必至だ。八七年がそれを実現する年に、千名の仲間が歯をくいしばって闘ってきた闘いが水泡に帰さないように先頭に立って闘う、と結んだ。

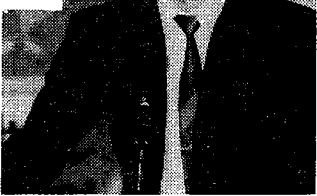
（動労高崎） 動労大改革へ、



動労高崎連帯 和田山委員長

新たに闘う戦列に加わった動労総連合の国鉄高崎動力車連帯労組より和田山委員長があいさつにたち「横川支部から一名の仲間がともに決起し、動労高崎の中でも支援の声が大きくあがっており、一三月激動のとき全力で闘いぬく」、続いて国鉄水戸動力車労組の辻川委員長が「八年間夢にみた仲間とともに旗開きを開催し感動している。勝田、水戸、大子支部の結成大会をかちとり、青年部・家族会も結成間近、千葉、高崎とともに闘う」とあいさつされた。

ともに闘おう



動労水戸 辻川委員長

（次号につづく）